

作成（2024 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	藤井 ひかる
所属機関名	獣医学部獣医学科
職位	講師
在籍年	6 年

教育の責任

獣医学科の獣医微生物学の講義及び実習、獣医保険看護学科の動物感染症学関連の実習を主に担当している。

教育の理念

学生が自分で考え、主体的に行動できる獣医師や社会人へと成長することを目指して教育している。知識を身に着けることは勿論、考える力を養い、知識を実践に活かすための出力能力や、他者との効果的なコミュニケーション力を身につけさせたい。そのために、学生が自ら問題を解決し、チームで協力できる力を身につけ、社会で活躍できる力を育む。大学教員として、上記を重視して学生の成長をサポートし、自身も共に学び続けるよう心掛けている。

教育の方法・方針

・知識の修得

特に実習では講義ではカバーできない部分、概念的で理解しにくい部分を実践することで目で見たものと知識をリンクさせ、理解を深められるよう努めている。

・考える力の養成

実習では一つ一つの項目について考察を課し、理論上と異なった事象が生じた場合、その要因や改善点について考えさせることで、考える力を養う。また、考えるためには原理についての理解も不可欠であるため、より深い理解にもつながる。

・出力能力の向上

実習では得られた結果や考察をレポートの形で提出させることで、結果や考えたことについて文章で出力する力を向上させることを目指す。

・コミュニケーション能力の向上

班単位で実習を行うことで、作業をする際の協力、得られた結果の共有、結果の考察についてのディスカッションでコミュニケーションを図る機会を設けることで、コミュニケーション能力の向上を図っている。

・質問しやすい環境の醸成

上記 4 項目を自力で達成することが難しい学生がほとんどであり、これをサポートするために質問しやすい環境を醸成している。具体的には、いつでも気軽に質問できるように、作業中は実習室内を周遊するようにしている。また、学生の中には教員に質問すること自体がハードルが高い場合があるため、TA の学生を配置する、ゼミの学生に手伝ってもらう等、声をかけやすい環境を醸成している。

教育の成果

以下は学生からの評価（授業アンケート、コメント）やレポート課題の最後に書かせている

感想を参照している。実習に対する全体的な評価はほぼ満足以上と回答したものが90%以上であった。また、個別の感想やコメントには、理解が深まった、新しいことをたくさん知れた等知識の修得への満足度も高かった。また、疑問に思ったことについて班内で意見を出し合うことができ楽しかった等の意見も寄せられ、考える力やコミュニケーション能力の養成も行えていることが伺い知れた。更に、説明がわかりやすく、質問しやすい雰囲気だったのが良かったといったコメントも複数あり、実際に質問しやすい環境を醸成できていることが確認できた。

今後の目標

授業スライド等年々ブラッシュアップしているが、更に磨きをかけ、現在まだカバーできていない部分の説明スライドを作成する等、より分かりやすくできるようにする。また、日々微生物学も進歩しているので、自らも情報や知識を更新し、授業に還元できるようにする。

根拠資料

MyLog 授業アンケート、授業資料